



## 令和3/4年産サトウキビ

### 植え付け開始

種子島地区において、令和3/4年産サトウキビの面積拡大と単収向上を目的に「増反推進」を2月27日から3月8日にかけて実施しました。生産者には収穫よりも植え付けに専念してもらおうと、期間中、サトウキビ原料受け入れ先の新光糖業は操業を一時停止。新光糖業の工場で働く従業員らも生産者を手伝い、一斉に植え付け作業を行いました。



「はるのおうぎ」は茎数が多く、収量や株出し回数が多いのが特徴で、気象災害にも強く、生産者らの期待は大きい。令和3年度に生産者へ種苗が供給され、原料用として令和4/5年に収穫される予定となつていきます。

今年産期は、台風10、14号による葉先の裂傷や塩害で単収5780キ、生産量12万5044トにとどまる見込みです。

営農販売課の森山貴憲係長は、「増反推進による、面積の維持拡大が重要。面積や収量の減少に歯止めをかけるため、新品種の普及も含め、面積拡大に尽力したい」と意気込みました。

## 日本一早いコシヒカリ

### 植え付け開始

J A管内で3月中旬、早期米の田植えが始まりました。種子島産の早期米は、日本一早い「種子島産コシヒカリ」として銘柄の確立を目指しています。

早期米は、植付時期の集中、集約を図ることで、病虫害対策の効果が高め、市場での有利販売に繋がります。

植え付けは、3月中旬から下旬にかけて行われ、7月中旬から出荷が始まります。

令和3年度は2000鈔作付し、生産量は780トとなる見込みです。



## 花き振興会目揃え会

### 台風被害によりレザー出荷量減

J A種子屋久花き振興会は3月16日、中種子花き集荷所で目揃え会を開きました。

会には、各支部の振興会役員や経済連、J A職員ら13人が出席し、J A営農指導員が令和2年度の出荷実績やクレーム状況を報告。検査基準や荷造りなどの出荷要領も協議しました。

令和2年度は、台風の影響により、レザーの出荷量には399万本（前年比78%）にとどまりました。



双子座  
5/21  
～6/21

【全体運】活躍が期待できます。やりたいことや興味のあることを回りに伝えて。協力してくれる人が現れるはず  
【健康運】オーバーワークに注意。休息を取って  
【幸運を呼ぶ食べ物】ミツバ

J A たねやく  
2021・4